

令和3年度シラバス（芸術）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	音楽 I	単位数	2 単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	音楽 I Tutti 改訂版 (教育出版)			授業形態	必修選択

1 学習目標 (科目のねらい)

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導計画 (時期、単元、学習内容、配当時間、考查等)

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間
4	歌唱とリコーダーの基本練習(1学期) ・歌唱：発声のための準備運動 十分な声量のための正しい姿勢と腹式呼吸法の練習「校歌」「手紙」「ふるさと」「野ばら」「夏の思い出」 ・器楽 リコーダー独奏：アルトリコーダーの構え方、運指、タンギングについて「メヌエット」「アメージンググレース」 ・楽典：中学校までの段階の復習	22	1	合奏表現の工夫(3学期) ・歌唱：豊かな声量で歌うとともに表現を考える「O sole mio」「Caro mio ben」「Caro mio ben」 ・創作：まず短音階をはじめ、いろいろな音階を学び、学んだ音から音階を自ら選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音をつけてイメージを持つての音楽づくりに挑戦する。「かえるの合唱」「きらきら星」 ・器楽：リコーダー独奏 音色や強弱の変化を学び表現する。「威風堂々」 音楽記号についての表現 : ミュジックハル合奏グループ学習にて合奏の表現を工夫した発展練習、発表「きらきら星変奏曲」 グループ学習にて合奏の表現を工夫した発展練習、発表 ・音楽史「③日本音楽史」 ・各種テスト実施(教科内にて随時)	14
5			2		
6			3		
7	歌唱と器楽合奏(2学期) ・歌唱：豊かな声量で歌う 「世界に一つだけの花」「上を向いて歩こう」「少年時代」「おおシャンゼリゼ」 ・器楽：ミュージックハル合奏 奏法の理解と様々な楽曲をグループにて合奏 ・楽典：「楽譜の見方と書き方②」 音楽史「②バロックから現代まで」 ・鑑賞：音楽関連の映像作品鑑賞(音楽映画等) ・各種テスト実施(教科内にて随時)	28	7		
8					
9					
10					
11					
12					

3 評価規準と評価方法

計64時間(55分授業)

評価は次の観点から行います。

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組んでいる。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それら働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ、定期的な実技試験を行い評価します。また、課題にいかに関心を持って取り組んでいるかという意欲・態度とともに、提出物の内容も重要な評価の項目です。

4 担当者から一言

受け身ではなく、自ら積極的な態度で授業に参加することを望みます。歌唱、リコーダー、ミュージックハル等の器楽演奏を楽しみながら学習を深め、音楽の喜びを一緒に体験しましょう。

令和3年度シラバス（芸術）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2単位	学年(コース)	2学年 探究教養コース
使用教科書	音楽Ⅱ Tutti 改訂版 (教育出版)			授業形態	選択

1 学習目標（科目のねらい）

音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てると共に、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間
4	歌唱とギター、器楽合奏練習(1学期) ・歌唱：発声練習 正しい姿勢と呼吸法の復習「校歌」「美しき五月に」「島唄」 ・器楽・ミュージックハル「星に願いを」 ・ギター「Let it be」 ・楽典：1年時の復習「音名」「音符」「音楽用語」「コードネームの理解①」 ・各種テスト実施(教科内にて随時)	20	1	合奏の発表、鑑賞(3学期) ・器楽・ギターアンサンブル(自由選択曲のグループ発表) ・キーボードアンサンブル「レイダース・マーチ」 ・歌唱「校歌」「Tomorrow」 「Amazing grace」 ・鑑賞 ミュージカル「CATS」	16
5			2		
6			3		
7			歌と器楽合奏の表現の工夫(2学期) ・歌唱：「落葉松」「Piacere d'amor」「瑠璃色の地球」 ・器楽・リコーダー「Jupiter」「アレヤ」 ・キーボード(鍵盤楽器の奏法を理解する) ・アンサンブルに挑戦する(自由選択曲) ・楽典：「音程①」「音楽史の流れ①」 「コードネームの理解②」 ・音楽関連の映像作品鑑賞(音楽映画等) ・各種テスト実施(教科内にて随時)	28	
8					
9					
10					
11					
12					

3 評価規準と評価方法

計64時間(55分授業)

評価は次の観点から行います。

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組んでいる。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それら働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ、定期的な実技試験を行い評価します。また、指示の課題にいかに関心を持って取り組むか、提出物の内容や班別学習への参加状況も重要な評価の項目です。

4 担当者から一言

音楽Ⅱでは、音楽Ⅰで学習した内容を発展させた様々な楽曲に挑戦します。歌や器楽合奏、グループ演奏など多彩な活動に積極的に取り組みましょう。

令和3年度シラバス（芸術）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	音楽Ⅲ	単位数	2 単位	学年(コース)	3 学年
使用教科書	音楽Ⅲ（教育出版）			授業形態	選択

1 学習目標（科目のねらい）

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てると共に、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間	
4	<p style="text-align: center;">歌唱とギターの基本練習、視唱活動 (1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 正しい姿勢と呼吸法の復習 ・歌唱：「校歌」「ふるさと」「夢路より」 ・器楽・ミュージックハル「いつも何度でも」 ・ギター「take me home, Country Roads」その他自由選択曲 <p>・楽典：「音名・音階」「音符」「音程」「音楽用語」</p> <p>「西洋音楽史の流れ①」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種テスト実施(教科内にて随時) <p style="text-align: center;">歌と器楽による合奏表現 (2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱：「海の声」「Lisa ch'io pianga」「Happy Xmas」「北秋の」 ・器楽 リコーダーアンサンブル「Dona nobis pacem」「サリガートン」 ギター弾き語り「Hey Jude」 ソルフェージュ：「アンサンブルをしてみよう」 	20	12	<ul style="list-style-type: none"> ・楽典：「西洋音楽史の流れ②」 ・音楽関連の映像作品鑑賞(音楽映画等) ・各種テスト実施(教科内にて随時) <p style="text-align: center;">合奏の発表、鑑賞 (3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱：「桜の葉」「思い出がいっぱい」「Nina」「校歌」 ・器楽・キーボードアンサンブル「サンダーハート」 ・ギターアンサンブル(自由選択曲) 	28	
5			1	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱：「桜の葉」「思い出がいっぱい」「Nina」「校歌」 		
6			2	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽・キーボードアンサンブル「サンダーハート」 ・ギターアンサンブル(自由選択曲) 		
7			3	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 オペラ「トゥーランドット」 		16
8						
9						
10						
11						

3 評価規準と評価方法

計64時間(55分授業)

評価は次の観点から行います。

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組んでいる。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それら働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ、定期的な実技試験を行い評価します。また、指示の課題にいかに関心的に取り組むか、提出物の内容や班別学習への参加状況も重要な評価の項目です。

4 担当者から一言

音楽Ⅲでは、音楽Ⅰ・Ⅱで学習した内容をさらに発展させ、難易度の高い曲に挑戦します。自ら積極的に取り組み豊かな感性を磨きましょう。